

### 今後の連携のあり方について

- ・人口減少・少子高齢社会への対応は、国全体が直面している大きな社会課題  
⇒地域経済を持続可能なものとし、住民が安心して快適に暮らしを営んでいけるようにするためには、一定規模の人口を有し、活力ある社会を維持するための拠点を形成する必要がある。
- ・社会情勢の変化や新たな潮流を踏まえ、「こどもまんなか」「防災・災害時対応」「行政リソースの共用化」など、新たに取り組むべきテーマが明らかになっている。
- ・能登半島地震を踏まえた激甚化する災害への対応力の強化、北陸新幹線敦賀開業を契機とした新たな交流・観光施策の展開など、取組を強化すべき課題に直面

本圏域全体の活力ある社会経済の維持を図るため、とやま呉西圏域連携中枢都市圏の枠組みを維持することが必要

**第3期ビジョンの策定へ**